

ルイ・イカール

- 1888年 9月12日、銀行家ジャン・イカールと妻エリザベートの長男として、南仏トゥールズ市のトラヴェールエール・ド・ラ・バランス街に生まれる
絵葉書の工房などで働きながら、絵画の修行を積む
シュール・シエレなどから影響を受ける
- 1908年 雑誌「芸術批評」の表紙にHELLIの著名でイラストを描く
この頃から画家になる事を考え始める
自分のデッサンを持ってクチュリエ(服飾店)をまわる
ヴァルモンで帽子、ドレスなどのデザインを手掛ける
- 1912年 バルセロナのギャラリーで最初の個展
- 1913年 ワグラム画廊がイカールの作品を、アメリカなどに輸出し始める
- 1914年 ゲント(ベルギー)の展覧会に出品、栄誉賞受賞
後の妻、ファニー・ヴォルメールに出会う
以後、彼女はイカールのモデルを勤めるようになる
パリ・オペラ・バレエ劇団による特別公演で衣装デザインを担当し注目される
- 1918年 第一次世界大戦に戦闘機のパイロットとして従軍、終結と共に復員
- 1920年 パリ・サイモンソン・ギャラリーにて油彩を出展
ファニーと結婚
- 1921年 アメリカに販売網を持つフランスの版元、近代版画社から製作依頼を受ける
- 1922年 ニューヨークを訪れ、アメリカ初の個展
ワナメーカー百貨店のベルメゾンギャラリーを経て、フィラデルフィアを巡回
- 1927年 レジオン・ドヌール第5勲章を受ける
- 1932年 ニューヨークのメトロポリタン美術館で、油彩の連作「白いヴィジョン」の展覧会開催
- 1933年 デュマ・フィス作「椿姫」のポスター制作
- 1939年 第二次世界大戦開勃発
- 1940年 ドイツ軍侵攻をテーマにした連作「エクソダス」を制作
- 1944年 パリ解放とともに、版画制作を再開する
- 1945年 第二次世界大戦終結
- 1950年 12月30日、モンマルトルの自宅で死去
イットヴィルの共同墓地に埋葬される